

患者さまへ

急性食道粘膜病変 (Acute esophageal mucosal lesion: AEML) の

臨床学的特徴に関する後方視的研究-重症逆流性食道炎と比較して-

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2016年10月～2020年5月に当院で急性食道粘膜病変、または重症逆流性食道炎と診断された方

2. 研究目的・方法

急性発症で上部消化管出血を示唆する症状を呈する患者さまにびらん性食道炎を認めることがあり、急性食道粘膜病変という診断となります。ただ本疾患の原因は様々な説があり、まだ明らかにされてはいないことが多いため、鑑別を要する重症逆流性食道炎と本疾患を比較検討する事により本疾患の臨床学的な特徴を明らかにすることが目的です。過去の診療記録を用いてそれを明らかにするため、本研究を実施致します。研究実施期間は当院施設院長承認後から2021年8月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、既往歴、内服薬、内視鏡検査所見、採血結果 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

市田 親正

医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 消化器病センター

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 TEL : 0467-46-1717 (病院代表)

(2021年4月5日作成 (第2.0版))